

【工夫】子どもが楽しく過ごす姿を見たくて、自治会活動を支える大人の連鎖に

この自治会は、「子ども会が地蔵盆や運動会などで中心となって動いてもらい、みんなでワイワイと楽しくやっている」ということでお話を伺ったところ、運営のしくみがきちんと整えられ、引き継がれている様子がわかった。

◇「自治会長，10年は続ける」

お話を伺ったのは、自治会長のKさん。約50年前からこの地に住んでおり、体育振興会支部長、副会長4年を経て、現在会長6年目。世帯数が多い自治会なので、副会長（会長代行）のうちいろいろな教えてもらってから会長になることが多いそう。歴代の会長も10年間務めてこられたため、ご自身も皆さんに支えられつつ、副会長に仕事内容を伝えながら進めている、とのこと。「トップが率先して動くことで周りが手伝って下さる」という思いで地域活動を率いるKさん。世帯数が多く、管理することも多いため、データ化ができる方に表や文章を作成していただきながらきっちり整理。会長・副会長9名で、1年毎に輪番で交代する22組の組長を支えている。役の免除規定はないが、高齢の方に配慮して役を飛ばす場合もあり、その代わりに、会長自ら、会員として残ってほしい、と説明しに行っている。

◇「子ども会と地蔵盆」

特徴的な活動は子ども会。小学生を対象とした活動を担う会で役員はPTAの地域委員。次年度は少年補導に残り、子どもたちのお世話を引き継いでいく。子ども会は、7月と8月の火の用心と地蔵盆の小学生行事を担当。この自治会のお地蔵様の祠は大きく、市の指定有形文化財でもある。地蔵盆は、自治会からの援助金に加え企業からも寄付を頂くため盛大で、外孫も参加可。大変賑やかだそうです。



◇「子どもとお年寄りが楽しく住めるまちに」

Kさんのモットーは「子どもとお年寄りが安心安全で楽しく住めるまちづくり」。子どもが楽しく行事に参加している様子を見て新しい方の加入につながる。子どものときに地域の行事に参加した記憶が、将来大人になったときの地域活動への参加につながる。そう考えて、自治会活動が末永く続き、滞りなく引き継げるよう、運営のしくみを守っていらっしゃるようになりました。

【G自治会】西京区。戸建て中心の約500世帯のうち、加入320世帯。22組。組長は輪番で任期は1年。自治会役員（会長(1)・副会長(8)・会計・監査）と各種団体支部長の任期は2年。市政協力委員は会長・副会長の9人。子供会はPTAの地域委員5人。約30年前に自治会館建設。自治会費は月400円/世帯。

取材：平成31(2019)年3月12日／文：京都市まちづくりアドバイザー 小林明音